

⑩ チェックリストで対策の実施状況を確認しましょう。

- 消毒液が用途に応じて適切に使用され、口腔ケア物品・吸引関連物品・排泄ケア物品などが交差の起こらないよう整理整頓され、適切に管理されているか確認しましょう。
- 職場環境で感染が拡大しないように、休憩室内では黙食・距離の確保・換気、更衣室でのマスクの着用が厳守されているか確認しましょう。

自分たちを守るための対策をしましょう

コロナ対策 チェックリスト



監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部 副部長
ICT チーフ 特例准教授

①いつでも実施：コロナ対策としてよりも、いつでも実施する対策
②コロナ対策：新型コロナウイルス感染症に特化した対策
③対策グレードアップ：①②ができていればより強化するための対策

	● 手指衛生	● 環境整備	● 個人防護具	● マスク	● 換気	● 食事	● 入浴介助
いつでも実施	<input type="checkbox"/> 手指衛生 1 処置・1 患者 ごとに手洗い	<input type="checkbox"/> 環境整備 1 日 2 回は 清拭（清掃）	<input type="checkbox"/> 個人防護具 （PPE） 汚染される リスクがある 場合は着用	<input type="checkbox"/> マスク 医療従事者は サージカル マスクを着用	<input type="checkbox"/> 換気 時間で換気 対角線上で 窓を開ける	<input type="checkbox"/> 食事 対面でしない 眼を保護する	<input type="checkbox"/> 入浴介助 マスク着用 眼を保護する
コロナ対策	<input type="checkbox"/> 首より上× ※手指衛生を していない手で首 から上を触らない （眼・鼻・口など）	<input type="checkbox"/> 0.05%以上の 次亜塩素酸 ナトリウム溶液 <input type="checkbox"/> アルコール （60%以上のエ タノール）	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> キャップ	<input type="checkbox"/> サージカルマ スクを着用 <input type="checkbox"/> 共有スペース では患者も着用	<input type="checkbox"/> 換気扇作動 （常時）	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を 着用 <input type="checkbox"/> 職員も対面での 食事を禁止 ※食事中に話し ない、会話するなら マスクをつけて！	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を 着用 ※とにかく眼の 保護
対策グレードアップ	<input type="checkbox"/> 開封日記載 <input type="checkbox"/> 使用期限記載 <input type="checkbox"/> 雑置きし× ※空にして洗浄乾 燥後に補充 <input type="checkbox"/> 携帯用 <input type="checkbox"/> 使用量調査	<input type="checkbox"/> 使用期限 ※次亜塩素酸ナト リウム溶液は 24 時間 <input type="checkbox"/> 噴霧はしない <input type="checkbox"/> 手順を作る <input type="checkbox"/> 記録を残す	<input type="checkbox"/> 備蓄を準備 <input type="checkbox"/> 補助金活用 <input type="checkbox"/> 布エプロン廃 止 ※購入できない場 合はビニール袋を つける or 作る	<input type="checkbox"/> ユニバーサル マスキング ※常に全員がマス ク着用 <input type="checkbox"/> 症状ある場合 は必ずサージカ ルマスク <input type="checkbox"/> N95 マスクは ユーザーシール チェックを	<input type="checkbox"/> 常時 5 cm窓を 開放 <input type="checkbox"/> 1 時間に 5- 10 分窓を開ける <input type="checkbox"/> 陰圧室 <input type="checkbox"/> クリーンパー ティション <input type="checkbox"/> HEPA フィル ター付空気清浄 機 <input type="checkbox"/> CO ₂ 測定	<input type="checkbox"/> パーティショ ン設置 <input type="checkbox"/> ソーシャル・デ イスタンス <input type="checkbox"/> 時間分離	



土屋 香代子



吉森 みゆき



山元 佳
イラストレーター

<重要なポイント>

- 咳やくしゃみでウイルスを飛ばさない（咳エチケット）
- 汚染してもウイルスの量を減らす（環境整備）
- 直接ウイルスを浴びない（個人防護具・特に眼）
- 自分の手から口腔・鼻粘膜・眼に入れない（手指衛生）

（感染管理認定看護師）（感染管理認定看護師）（感染管理認定看護師）
 ※相談窓口：鹿児島県看護協会 TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
 鹿児島県医師会 COVID-19 感染症相談窓口 TEL.099-254-8121 Email covid19-cons@kagoshima.med.or.jp
 新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（中小規模病院用）：https://www.nurs.or.jp/using/practice/covid_19/document/pdf/ooki_hospital.pdf

発生状況に応じた施設対応のチェックリスト

(O) 発生に備えたチェックリスト

公益社団法人鹿児島県看護協会作成



感染予防対策への自施設チェックリスト

1. チェック日：(西暦) 2023年 月 日

2. チェック者名：

支援内容	項目	チェック	0：早急に改善が必要 (対策が不十分)	1：いつでも実施する (対策をしている)	2：感染対策が実施できている (強化している)	3：工夫して実施できている (管理できている)
1 消毒	手指消毒	0・1・2・3	手指消毒の手順や管理方法が把握できていない	手指消毒に関するマニュアル(取決め)がある	手指消毒の開封日記載・使用期限記載がされている	手指消毒の管理状況について記録が残されている
	実施状況	0・1・2・3	手指消毒を日常的に実施できていない	手指消毒を1処置・1患者ごとに実施している	手指消毒に関する教育がされている(研修・ポスター掲示など)	手指消毒のタイミングを確認し、改善活動を行っている。
	アルコール手指消毒剤設置	0・1・2・3	アルコール手指消毒剤が設置されていない	アルコール手指消毒剤が設置されている	手指消毒の使用量調査を実施している	手指消毒の使用量調査を実施し、改善活動に繋げている
	個人持ち	0・1・2・3	個人持ちを導入していない	個人持ちを導入している	個人持ちを導入し、全員が所持している	個人持ちを導入し、使用量が管理されている
2	マニュアル策定	0・1・2・3	マニュアルがない	マニュアルが作成されている	マニュアルが作成され、定期的に見直しされている	マニュアルが作成され、教育や指導に活用されている
3	発生時対応	0・1・2・3	発生時対応の手順が決まっていない	発生時対応の手順が決まっている	発生時対応の手順がマニュアル化されている	発生時対応の手順のシミュレーションを実施している
4 教育	防護具の着脱訓練	0・1・2・3	防護具が常備されていない	防護具が常備されている	防護具が日常的に活用されている	防護具の着脱訓練を実施している
	その他職員教育	0・1・2・3	教育されていない	研修を実施したことがある	研修を年に1回程度実施している	研修を実施する年間計画が立案・実施されている
5	面会方法・時間	0・1・2・3	面会方法・時間・場所はいつでも、誰でも可能である	面会方法・時間・場所は一定の基準をもうけて実施している	面会方法・時間・場所などを流行状況に合わせて検討し、実施している	面会方法・時間・場所などを流行状況に合わせて実施し、記録を残している
6 健康管理	発熱者の対応(職員)	0・1・2・3	発熱者の管理を実施していない	発熱者は所属長が管理している	発熱者の情報が1カ所に集まるようになっている	発熱者の情報が一括管理され、記録に残されている
	発熱者の対応(入居者)	0・1・2・3	発熱者の管理を実施していない	発熱者は所属長が管理している	発熱者の情報が1カ所に集まるようになっている	発熱者の情報が一括管理され、記録に残されている
7	食事テーブル配置	0・1・2・3	対面で実施している	対面を避ける工夫をしている	パーティションや距離を考慮した配置にしている	時間分離や配置の記録を残している
8	環境整備	0・1・2・3	環境整備の手順が決まっていない	環境整備の手順が決まっている	環境整備は1日に2回以上実施されている	環境整備の実施記録が残されている
9	換気方法	0・1・2・3	換気方法の手順が決まっていない	換気方法が決まっている	換気扇の常時作動、対角線上の窓開放や常時開放をしている	空気清浄機設置やCO2測定などの対策を実施している
10	ゾーニング	0・1・2・3	ゾーニングの取決めがない	ゾーニングの取決めがある	具体的なゾーニングの方法がマニュアル化されている	ゾーニングのシミュレーションを実施している

支援内容	項目	チェック	0：早急に改善が必要 (対策が不十分)	1：いつでも実施する (対策をしている)	2：感染対策が実施できている (強化している)	3：工夫して実施できている (管理できている)	
11 介助	入浴介助・清拭	0・1・2・3	個人防護具着用なし	汚染されるリスクがある場合に着用している	マスク・手袋・エプロンを着用している	眼の保護まで実施している	
	おむつ交換	0・1・2・3	個人防護具着用なし	汚染されるリスクがある場合に着用している	マスク・手袋・エプロンを着用している	眼の保護まで実施している	
	食事介助	0・1・2・3	個人防護具着用なし	汚染されるリスクがある場合に着用している	マスク、ゴーグルを着用している	フェイスシールドを着用している	
	口腔ケア	0・1・2・3	個人防護具着用なし	汚染されるリスクがある場合に着用している	マスク、手袋、エプロン、ゴーグルを着用している	フェイスシールドを着用している	
12	汚物処理	0・1・2・3	個人防護具着用なし	汚染されるリスクがある場合に着用している	マスク・手袋・エプロンを着用している	眼の保護まで実施している	
13	外出外泊の取り扱い	0・1・2・3	外出外泊の取り決めがない	外出外泊の取決めがある	外出外泊前後の健康状態のチェックがされている	外出外泊前後の健康状態含め記録が管理されている	
14	ワクチン接種	職員	0・1・2・3	ワクチン接種を推奨していない	ワクチン接種を推奨している	ワクチン接種状況を把握している	ワクチン未接種者の対策を実施している
		入居者	0・1・2・3	ワクチン接種を推奨していない	ワクチン接種を推奨している	ワクチン接種状況を把握している	ワクチン未接種者の対策を実施している
15	組織	感染対策委員会の有無	0・1・2・3	委員会の設置がない	委員会が設置されている	毎月開催され議事録が残っている	対策が検討され、現場の周知活動が実施されている
		感染対策窓口の職員の有無	0・1・2・3	担当の職員が決まっていない	担当の職員が決まっている	担当の職員に質問する方法が決まっている	相談内容が委員会等で提示されている
16	職員の更衣室	0・1・2・3	感染対策は特にならない	出入口で手指衛生を実施している	対策が決まっている	対策が周知されるよう工夫がされている	
17	休憩室の状況	0・1・2・3	感染対策は特にならない	対面の食事を禁止している	パーティションや距離を考慮した配置にしている	時間分離や配置の記録を残している	
18	BCP作成状況	0・1・2・3	BCPが作成されていない	BCPが作成されている	BCPが作成され、職員に周知されている	BCPが作成され、シミュレーションを実施している	

感染予防対策への自施設チェックリスト使用について

- * 1. チェックリストの対象事業所は医療機関、介護支援事業所、障害者支援事業所等になります。
- * 2. 各自施設の感染対策の状況についてチェックをして、自施設の感染状況把握や振り返り、今後の対策のために役立ててください。
- * 3. 健康管理の発熱者の対応（入居者）につきましては、各事業所に対応して、患者(児)、入居者(児)、利用者(児)と読み替えて使用してください。
- * 4. 介助の「食事と口腔ケア」については、顔面への飛沫暴露のリスクが高いため、フェースシールドとしています。
- * 5. 「3：工夫して実施できている（管理できている）」の目の保護につきましては、「フェースシールドかゴーグル」を想定しています。
- * 6. ワクチン接種の入居者につきましては、各事業所に対応して、患者(児)、入居者(児)、利用者(児)と読み替えて使用してください。
- * 7. チェックの欄は、0・1・2・3のいずれかに○印をお付けください。
- * 8. チェックについては、各項目の基準を参考にしてください。
- * 9. 実施していない項目については、「0」になります。
- * 10. 該当しない場合は、「0」になります。
- * 11. チェック日を決めて、定期的にチェックしてください。



鹿児島県看護協会 「感染予防対策への自施設チェックリスト」



(1) 平時の対策実施状況チェックリスト（自主点検期）

【様式6】

チェック項目：感染対策の基本		備考
手指衛生	玄関ロビーに手洗い啓発ポスターを掲示している 手洗い場にハンドソープとペーパータオルがある	
	アルコールベースの手指消毒剤を設置している、または携帯型手指消毒剤を持参している	
	20秒以上適切な量を採取し消毒薬が乾燥するまで手指消毒が実施されている	
	肉眼的に手が汚染されている場合は流水石鹸を用いた15秒以上の手洗いが実施されている	
個人防護具	マスク、手袋、エプロン・ガウン、目を守るためのゴーグルやアイシールド、フェイスシールド等がある 個人防護具の正しい着脱についての実技訓練を行っている	
	環境整備	環境消毒用の次亜塩素酸ナトリウム・消毒用エタノール・界面活性剤入り含有の清掃用ワイプがある
3密を避ける	レクリエーションや食事の部屋、居室等入所者（または利用者）が密にならないよう、1～2m程度離している	
	職員の休憩室、更衣室、仮眠室において密にならないよう、時差勤務等工夫している	
換気	窓を開ける、強制換気を行う等換気をしている	
	CO2モニターによる換気の評価ができています	
健康管理	【入所者（または利用者）】1日1回以上検温を行い温度版（熱型表等）に記載している	
	【職員】出勤前に検温している、体調が悪い時は出勤していない	
チェック項目：管理		備考
物品の確保	個人防護具、ハンドソープ、ペーパータオル、消毒剤、手指消毒剤等の在庫量を把握している	
	個人防護具、手指衛生物品を備蓄している	
	物資が不足した時の対応を決めている	
関係者の連絡先確認	感染症発生時に連絡をする保健所や関係先の連絡先を把握している	
チェック項目：発生時の対応		備考
発生時のシミュレーション	感染者発生時の個室隔離、生活空間の分けを検討している 生活空間の分けにより汚染区域が分かるように表示している	
	個人防護具を着る場所、脱ぐ場所を決めている（ゾーニング）	
	感染者や濃厚接触者と入所者（または利用者）の食事場所、生活場所、トイレ等を分けている	
	職員が不足した場合、勤務体制の変更、応援職員派遣の対応がある	
面会・入館者管理	家族の面会名簿、出入りする外部業者等の名簿がある	
	面会者の体温・呼吸器症状の有無・体調不良の有無を確認し、感染症が疑われる症状がある場合は面会を控えるよう対応ができています	
情報の共有	感染者が発生した場合の対策について入所者（または利用者）、家族、協力医療機関、必要時には保健所等と共有している	

(2) 感染拡大期、施設内での感染者の発生・続発を防ぐことに最大限に努める時期

【様式7】

		ポイント	
組織体制	<input type="checkbox"/>	対策組織が設置され、定期的な対策会議やミーティングが行われている	管理者の下、感染者、感染者数、発生部署、感染者と接触した可能性がある職員や入所者（または利用者）について把握し、報告体制を整備し、情報の共有、方針決定を行う。経時記録も行う。
	<input type="checkbox"/>	組織内で役割分担が行われている	業務分担を行い、特定の職員に業務が偏らないよう役割分担を行う
	<input type="checkbox"/>	職員就業制限期間の把握、就業可能数が把握されている	陽性者・濃厚接触者の就業制限期間の把握から、職員の就業可能者数をとりまとめる
	<input type="checkbox"/>	検査・感染者データがとりまとめられている	施設の対策や、外部への相談が迅速にできるよう、検査・感染者データがとりまとめる
	<input type="checkbox"/>	必要に応じて市町村・保健所等に連絡・相談している	相談が必要な場合や、報告基準に該当する場合は感染者発生数や入所者（または利用者）、家族、職員の状況について市町村・保健所等に連絡・相談する。
	<input type="checkbox"/>	全職員へ発生状況等の情報共有が行われている	感染者数・職員の就業状況・個人防護具の在庫状況・検査予定者数・感染対策・今後の業務継続計画等の情報の共有を行い職員の不安解消、モチベーション維持を図る。 メールだけでなく、グループウェア・情報共有アプリなどを活用する
	<input type="checkbox"/>	入所者（または利用者）、家族、地域への説明と不安への対応を行っている	地域への情報公開（ホームページや掲示、広報等）や入所者（または利用者）および家族へ説明を実施する。 面会中止とした場合は、入所者（または利用者）や家族への説明や施設内の感染対策状況等の情報提供および代替方法を検討し実施する（遠隔システムを用いた面会実施等）。
	<input type="checkbox"/>	職員のメンタルケアを継続している	業務負担や精神的負担から離職者が出ることもあるため、職員の相談窓口、役職者による面談、必要時産業医受診等メンタルケアを継続する。
疫学評価	<input type="checkbox"/>	手指消毒剤、個人防護具の在庫が把握され、不足がないよう発注や支援依頼がされている。 感染性廃棄物が適切に廃棄されるよう、施設で廃棄ルールが定められ、業者との確認が行	汚染区域内へ手指消毒剤、交換用の個人防護具やケアに必要な器材等を補充する仕組みを整備する。
	<input type="checkbox"/>	職員の健康観察・有症状利用者が把握され、必要時の検査が実施されている。	職員の有症状者が把握・検査され、また対策が迅速に実施できるよう、利用者の有症状者を把握し、検査する
	<input type="checkbox"/>	検査・感染者データがとりまとめられている	施設の対策や、外部への相談が迅速にできるよう、検査・感染者データがとりまとめる

	<p>職員が汚染区域へ入る場合は、汚染区域外の決められた場所で手指衛生を行い、接触度に応じた个人防护具を着用している</p> <p><input type="checkbox"/> 職員が汚染区域から出る場合は、決められた場所で个人防护具を脱ぎ感染性廃棄物へ廃棄し、手指衛生を行っている</p>	<p>感染者数が増えると職員の業務量が増え、身体的精神的に疲弊するため感染拡大を防止する手順が守られないリスクが高まる。</p> <p>个人防护具着用に重きを置きがちであるが、脱ぐときのリスク低減に努める必要がある。接触度に応じた个人防护具を着用し、手袋をすることで安心せず、个人防护具を脱ぎ手指衛生を行うまでは、決して自分の首から上を触らないよう徹底する。</p>
	<p><input type="checkbox"/> ゾーニングを行い、レッドゾーンから病原体を持ち出さない、レッドゾーンで職員が感染しない対策ができています</p>	<p>感染拡大期では、個室数の限界があるためゾーニングを行う。</p> <p>他の入所者（または利用者）と動線を分ける。</p> <p>感染者数に応じて汚染区域を見直している</p>
	<p>職員が汚染区域へ入る場合は、汚染区域外の決められた場所で手指衛生を行い、接触度に応じた个人防护具を着用している</p> <p><input type="checkbox"/> 職員が汚染区域から出る場合は、決められた場所・手順で个人防护具を脱ぎ感染性廃棄物へ廃棄し、手指衛生を行っている</p>	<p>感染者数が増えると職員の業務量が増え、身体的精神的に疲弊するため感染拡大を防止する手順が守られないリスクが高まる。</p> <p>个人防护具着用に重きを置きがちであるが、脱ぐときのリスク低減に努める必要がある。接触度に応じた个人防护具を着用し、手袋をすることで安心せず、个人防护具を脱ぎ手指衛生を行うまでは、決して自分の首から上を触らないよう徹底する。</p>
感染対策	<p><input type="checkbox"/> 環境対策と換気ができている</p>	<p>高頻度に不特定多数が接触する箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、テーブル、ベッド柵、電話、ナースコール、パソコンなど）は、定期的（1日1～2回程度）に清拭消毒を実施する</p> <p>CO2モニターも参考にしながら、適切な管理ができているか評価する。機械換気で不十分な場合は、窓をあけるなどの対策を行う</p>
	<p><input type="checkbox"/> 物品管理と整理整頓が適切に行われている</p>	<p>消毒薬が用途に応じて適切に使用され、口腔ケア物品・吸引関連物品・排泄ケア物品などが交差が起らないよう整理整頓され適切に管理されている</p> <p>物品を必要以上に設置すれば物品の管理ができず乱雑な状況となる。また、施設は高齢者の生活の場であることを理解し、必要物品は整理整頓する。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 感染性廃棄物・リネンの適切な処理を行う</p>	<p>レッドゾーンから廃棄されるものについては判断フローに基づき、感染性廃棄物として扱うものは適切に処理を行う</p>
	<p><input type="checkbox"/> 手指衛生ができている</p>	<p>患者・利用者毎接触前後での手指消毒ができるように対策がとられている</p> <p>20秒以上適切な量を採取し消毒薬が乾燥するまで手指消毒が実施されている</p>
	<p><input type="checkbox"/> 利用者環境で拡大が起きないようにする</p>	<p>集合を極力避けて集合時はマスク着用、食事時の距離の確保・対面箇所でのアクリル板設置、換気、入浴・洗面時の距離の確保、禁煙を行う</p>
	<p><input type="checkbox"/> 職場環境で拡大が起きないようにする</p>	<p>休憩室内では黙食・距離の確保・換気、更衣室でのマスク着用の厳守、禁煙を行う</p>
	<p><input type="checkbox"/> 感染者に対する適切な治療を実施する</p>	<p>保健所等を通じて必要時は感染症管理専門家と連携し対応する。</p>

(3) 収束・再準備期

【様式8】

		ポイント	
組織体制	<input type="checkbox"/>	職員の復職条件を定めている	感染した職員は発症から5日間かつ症状改善後24時間を経過するまでは療養し、その後10日間は感染対策に留意し復帰も考慮する。濃厚接触した職員は、施設のマニュアルに定めた期間就業制限を行い、就業可能職員が少ない場合は対策を講じながらの復帰も考慮する。
	<input type="checkbox"/>	復帰職員の感染対策教育の準備を行っている	就業制限をしていた職員は、発生時から拡大期における感染対策の教育を受けていないため、復職前に改めて教育が行えるよう準備する。
	<input type="checkbox"/>	転院した入所者（または利用者）の受入調整ができています	一時的に他施設へ転院した入所者（または利用者）、在宅サービスを優先した人の受け入れの調整を行う。
再準備	<input type="checkbox"/>	感染発生から拡大までの振り返りを行っている	資材の確保や感染対策の遵守状況を含めた感染対策について振り返りを行い、今後の対策について話し合う。
	<input type="checkbox"/>	マニュアルの改訂や準備体制の見直しを行っている	今後の発生に備えてマニュアルを見直す。
感染対策	<input type="checkbox"/>	個室隔離やゾーニングの見直しを行っている	感染者数の減少に伴い隔離やゾーニングの縮小について検討する。
	<input type="checkbox"/>	個人防護具等の在庫確認を行い、在庫の見直しを行う	引き続き十分な感染対策ができるように、資材担当者と平時の資材発注や在庫管理、また不足時の対応（代替品の検討等）について検討する。
	<input type="checkbox"/>	標準予防策、経路別予防策の実践に取り組んでいる	今回の経験を機に、感染拡大防止に繋がる標準予防策、経路別予防策の実践に取り組む。
支援組織との連携	<input type="checkbox"/>	必要に応じて市町村・保健所等に連絡・相談している	相談が必要な場合や、報告基準に該当する場合は感染者発生数や入所者（または利用者）、家族、職員の状況について市町村・保健所等に連絡・相談する。
	<input type="checkbox"/>	地域や他施設での流行状況を把握している	流行状況に関する情報を収集する。

【 参 考 資 料 】

厚生労働省

- ① 介護現場における（施設系、通所系、訪問系サービスなど）感染対策の手引き 第2版
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf> 
- ② 介護職員のための感染対策マニュアル 概要版 通所系
 <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678256.pdf>
- ③ 介護職員のための感染対策マニュアル 概要版 訪問系
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678257.pdf> 
- ④ 介護職員のための感染対策マニュアル 概要版 施設系
 <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678255.pdf>
- ⑤ 施設内療養時の対応の手引き
<https://www.google.com/url?client=internal-element-cse&cx=005876357619168369638ydrbkui3fss&q=https://www.mhlw.go.jp/content/000783195.pdf&sa=U&ved=2ahUKEwicuif38Kn5AhWRuJQKHT4bAJMQFnoECAIQAG&user=AOvVaw33A1DMW1ihWM4AELwJBLom> 
- ⑥ 介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン
 <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000817384.pdf>
- ⑦ 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00002.html 
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症によりなくなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン
 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkiyou.html
- ⑨ 高齢者施設等における効果的な換気対策の考え方等についての提言：「感染拡大防止のための効果的な換気について」（令和4年7月14日新型コロナウイルス感染症対策分科会）
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai17/kanki_teigen.pdf 
- ⑩ 動画「【新型コロナ】効果的な換気のポイント」（内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室）
 <https://www.youtube.com/watch?v=utlnrLrfxmc>
- ⑪ 高齢者施設における面会の実施に関する取組について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/index_00014.html 

鹿児島県

- ⑨ 県看護協会作成 コロナ対策 チェックリスト
<https://www.pref.kagoshima.jp/ae05/korona.html> 
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症感染（拡大）防止対策研修
 <https://www.pref.kagoshima.jp/ab13/koureisayashisetsu-kensyuu.html>

【問い合わせ先】

くらし保健福祉部

高齢者生き生き推進課

電話：099-286-2696

監修：川村英樹(鹿児島大学病院)

前永 和枝(まろにえ介護老人保健施設)

吉森みゆき(今村総合病院) 中野智子(川内市医師会立市民病院)

松井光一郎(ピースフル立神) 原口悦江(愛と結の街) 中津詩穂(グループホームひばり)